



巻頭言

皆さん、こんにちは。令和8年4月より附属図書館長に就任いたしました岡本です。AIの発展により、知識や情報へのアクセスのあり方は大きく変わりつつあります。このような時代において、大学図書館の役割は、単に資料を提供する場にとどまらず、学びや研究を支える学術基盤として再定義されつつあると考えています。

その一方で、私自身、学生時代に書庫で古い専門書まで遡り、同じ現象に対する説明の違いを辿った経験があります。書庫に蓄積された過去の知見から、最新の学術データベースによる新たな知見まで、時間を超えて知にアクセスできることは、大学図書館の大きな特徴の一つだと感じています。AIによって多くの情報が得られる時代だからこそ、知識がどのように積み重ねられてきたのかを辿ることのできる環境の重要性を感じています。

附属図書館は、静かに学ぶ場であると同時に、新たな知を生み出す創造的な空間でもあります。また、研究データの管理・公開を通じて、本学の学術成果を世界と共有し、学術基盤の一部として接続していく役割も担っています。

このような機能を活かしながら、図書館スタッフとともに力を合わせて、学生・教職員の皆様の学びと研究を支えてまいります。学生・教職員の皆様には、それぞれの学びや研究の中で、附属図書館を積極的に活用していただければ幸いです。

(岡本 牧子：琉球大学附属図書館長)



目次

- 1… 巻頭言
- 2… 「宮良殿内文庫」が国の重要文化財に指定されました
- 3… 企画展「戦後80年 沖縄戦×琉球大学」を沖縄県内各地で開催
- 4… 2025年度学外企画展を開催
- 5… 学修支援セミナー「先輩に聴く！」シリーズを開催しました
- 5… 医学部分館にカームダウン・クールダウンスペースを設置しました
- 6… 琉球大学研究データ管理セミナーを開催しました
- 7… 海外大学図書館訪問記
- 9… 第19回 琉球大学びぶりお文学賞 選考結果
- 9… 第19回 琉球大学びぶりお文学賞表彰式
- 10… びぶりお文学賞受賞者の言葉
- 10… 第20回の募集について
- 11… 館内企画展を開催
- 12… 図書館所蔵資料が利用された出版等
- 13… 【本館】開館時間変更の試行について (2026年8月1日～)
- 13… 琉球大学附属図書館への支援をお考えの方へ
- 14… 図書館日誌
- 16… 図書館データ集 (2025年度)
- 17… 組織図

琉球大学附属図書館ウェブサイト

URL:<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/>

各種SNSもやっています!



https://x.com/ryukyus_lib



https://www.instagram.com/ryukyus_lib



<https://booklog.jp/users/ryukyus-lib>



<https://www.youtube.com/channel/UCaO7QIBLwiOSRIOgQhK2x3A>

図書館からのお知らせは要チェックだよ!



「宮良殿内文庫」が国の重要文化財に指定されました

2025年9月、図書館が所蔵する「宮良殿内文庫（みやらどうんちぶんこ）」（宮良殿内家関係資料）348点が、国の重要文化財に指定されました。本学で初めての指定です。

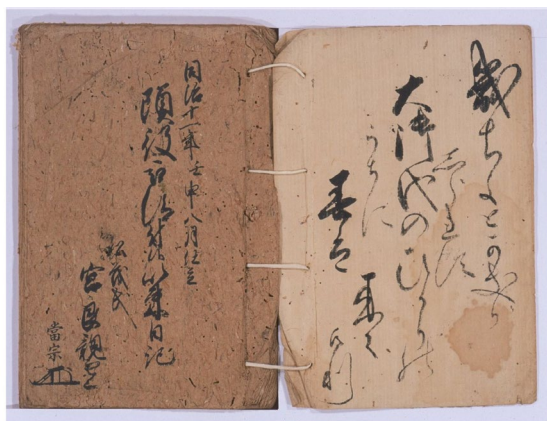
今回の指定を受け、あらためて多くの方々に本資料群の魅力・価値を伝えていけるよう、資料の保存・公開・活用に励んでいこうと考えています。

▷「宮良殿内文庫」について

近世の八重山地域において代々頭役（かしらやく：行政区の長）を輩出した宮良家に伝わる貴重な資料群です。「宮良殿内（みやらどうんち/めーらどうぬじょう）」とは、宮良家に対する尊称、もしくはその屋敷のことを指します。八重山の行政に関する文書や首里王府との往復文書のほか、儒教関係の漢籍資料や琉歌集・和歌集などの教養に関する資料も含まれています。これらの資料からは、八重山の歴史や当時の行政の様子、八重山士族の生活・文化の実態を知ることができます。

本資料群は、1962年に当時の当主である宮良當智氏の「広く研究に役立ててもらいたい」という意向により、図書館へ寄贈されました。1997年には図書館の所蔵資料では初となるデジタル公開を行い、「琉球・沖縄関係貴重資料デジタルアーカイブ」(<https://shimuchi.lib.u-ryukyu.ac.jp/>)にて一部資料のデジタル画像を、解説や翻刻文等とともに公開しています。

▷指定された資料（一部）



「頭役被仰付候以来日記」

<https://doi.org/10.24564/mi09601>

宮良親雲上当宗（近世八重山の役人）が、八重山での最高職である頭役に任命された日から書かれた日記。

首里での任命儀礼や八重山での公務の様子など、多様な情報が記されている。



「馬絵」

<https://doi.org/10.24564/mi13601>

裸馬（赤馬1枚、黒馬2枚、茶褐色馬1枚、薄黒馬1枚）の図5枚と薩摩藩士の騎馬図4枚からなる。

掲載画像は、薩摩人が羽織袴を着用し、馬飾りを施した馬を走らせている様子。

▷関連動画

本資料群に関わりの深い教員や図書館職員に対するインタビュー動画や、これまで制作した資料解説動画を、図書館公式YouTubeチャンネルにて公開しています。図書館ウェブサイトからアクセス可能です。

<https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/info/17226/>

企画展「戦後80年 沖縄戦×琉球大学」を沖縄県内各地で開催

2025年は、アジア太平洋戦争末期の沖縄戦から80年という節目の年でした。図書館ではそれに合わせ、企画展「戦後80年 沖縄戦×琉球大学」を沖縄県内各地で開催しました。この企画展では、本学教員が行っている沖縄戦をめぐるさまざまな研究・教育活動や、図書館職員が作成した本学戦跡MAP、当館所蔵の沖縄戦関連資料等を紹介しました。その他、関連動画を図書館YouTubeチャンネルにて公開しています。

本展は、まず6月2日から6月30日まで、本館を会場に開催し、7月以降は、本学附属中学校、南城市、中城村、豊見城市、恩納村で移動展を行いました。なお、豊見城市は学外企画展の一環として開催しました。

| 会場 | 開催期間 |
|--------------------|-------------------------|
| 本館2階 ラーニング・commons | 2025年6月2日（月）～6月30日（月） |
| 琉球大学附属中学校 | 2025年7月4日（金）～7月17日（木） |
| 南城市役所 | 2025年7月25日（金）～8月7日（木） |
| 中城村護佐丸歴史資料図書館 | 2025年8月9日（土）～8月20日（水） |
| 豊見城市歴史民俗資料展示室 | 2025年10月1日（水）～10月26日（日） |
| 恩納村博物館 | 2025年11月7日（金）～11月19日（水） |

来場者からは「亡くなってしまった人への思いや、次の世代につないでいきたいと思う意思が感じられた」「今後は聞くだけの平和学習ではなく、自分で調べてそれを沖縄戦を知らない人に知ってもらうということまでできるようにしたい」といった声が寄せられ、本展が「沖縄戦の記憶継承のこれから」について考える機会となったことがうかがえます。



当館会場の様子



移動展の様子（中城村）

2025年度学外企画展を開催

図書館では、地域貢献の一環として毎年秋に本学所蔵資料を公開する学外企画展を開催しています。2025年度は、「琉大資料でつなぐとよみ・とみぐすくの今昔」と題し、本学博物館（風樹館）の展示協力を得ながら、豊見城市教育委員会との共催で、豊見城市歴史民俗資料展示室にて2025年10月1日から26日まで開催しました。

「とよみ」とはオモロ語（沖縄の古語）で「名の鳴り響く」という意味の美称辞です。開催地である豊見城の由来であり、市内には「とよみ」を冠する施設が多くあります。この学外企画展では、図書館が所蔵する貴重書をはじめとする文化資源を通して、豊見城の多様な歴史につながるができる展示を行いました。

図書館からは、豊見城市保栄茂に関する『おもろさうし』やペリー艦隊が豊見城を訪れた際の記録、芸能関係資料などを、博物館（風樹館）からは、ジュゴンに関連する資料を展示しました。また豊見城市教育委員会からは、ウミガメやジュゴンの骨による蝶形骨器を展示していただきました。さらに、図書館が2025年度に県内各地で開催した「戦後80年 沖縄戦×琉球大学」の移動展を同時に行うなど、豊見城・沖縄をさまざまな視点からつなぐ学外企画展となりました。

加えて、期間中は2回の関連イベントを開催しました。講演会「史料にみる近世の豊見城」では、人口や家畜頭数のデータから考える近世の豊見城の特徴、豊見城に流れる河川の水運、王国時代の橋の改修記念碑と首里城改修記録との比較など興味深いお話があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。ワークショップ「豊見城の沖縄戦とVRを活用した平和教育」では、地図を使ったグループワークを通して、豊見城の沖縄戦の特徴について考え、講師や参加者同士の対話の中で理解を深めました。また、豊見城市教育委員会の担当者に豊見城市が進めるVR事業を紹介いただき、実際にVRコンテンツで戦前の豊見城を探る活動を行い、見て感じる学びの多い企画となりました。関連イベントや展示解説動画は、図書館YouTubeチャンネルにて公開中です。

本展の来場者からは、「小学生も楽しんでいました」「貴重な資料を体系立てて学ぶことが出来ました」など好意的な感想が寄せられました。

2026年度は中城村にて開催予定です。みなさまもぜひお越しください。



講演会「史料にみる近世の豊見城」の様子



グループワークで盛り上がるワークショップの様子

学修支援セミナー「先輩に聴く！」シリーズを開催しました

本館2階ラーニング・コモンズにあるラーニング・サポートデスクでは、本学の大学院生TA（ティーチング・アシスタント、以下TA）が、大学での勉強のコツをアドバイスする学修支援を行っています。その一環として、TAによるセミナーを実施しました（対面とYouTubeライブ配信のハイブリッド開催）。

2025年度は、新入生向け履修登録の方法や、教育実習、留学の経験談のような、TAがこれまでの学生生活で得た知見を学部生に向けてお伝えしました。また、大学院生だからこそ伝えられる大学院進学やそれぞれの研究内容に関連する回も開催しました。

全10回のセミナーには延べ509人の参加がありました。参加者からは、「自分の疑問に思っていることが解決できました」「大学院進学に関して何が必要なのか、また大学院でどの能力が身につくのか知ることができたので、とても助かりました」「とても分かりやすく、聞きやすいセミナーで留学に対して曖昧だった部分が明確になってよかった」と好意的な感想が多く寄せられました。

開催したセミナーはすべて録画し、学内専用ページで公開しています。セミナーの概要や動画へのリンクは、図書館ウェブサイト「大学院生TAと図書館職員によるオンラインセミナー（https://www.lib.u-ryukyu.ac.jp/ta_onlineseminar/）」からご覧になれます。参加できなかった、もう一度見たいという内容があれば、ぜひご覧ください。

2026年度もセミナーを開催しています。決まり次第、図書館公式SNS・ウェブサイトでお知らせします。どうぞお楽しみに！

医学部分館にカームダウン・クールダウンスペースを設置しました

このたび西普天間キャンパス教育棟2Fの医学部分館閲覧室に、カームダウン・クールダウンスペースを設置しました。

このスペースは、不安やストレスを感じたときに気持ちを落ち着かせたり、パニックになりそうなときに気持ちを静めたりするための場所です。利用申込みは不要です。利用の際は、パーティションを「利用中」の表示が外側になるように閉め、スペース内の机に置いてある使用記録簿に記入をお願いします。

また、スペースの前では大声での会話を控えるなど、周りへの配慮をお願いします。

本館2階にもカームダウン・クールダウンスペースがありますので、どちらもぜひお気軽にご利用ください。



琉球大学研究データ管理セミナーを開催しました

2026年2月19日（木）、研究共創機構と図書館の主催、そして九州・沖縄オープンユニバーシティ（K00U）研究データ管理・利活用ワーキンググループの共催により「研究データ管理セミナー」を開催しました。当日は、図書館のラーニング・コモンズとオンラインをあわせ、学内外から65名もの方々にご参加いただきました。

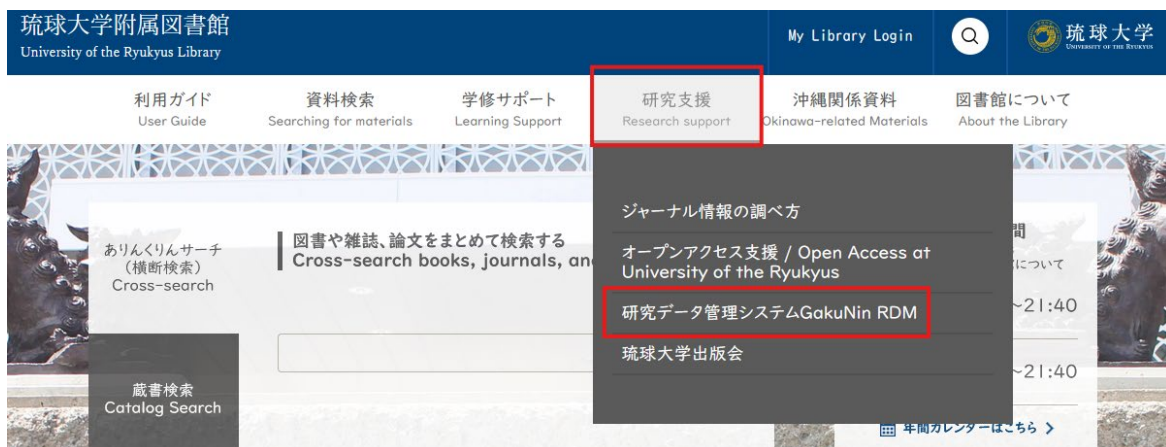
第1部では、国立情報学研究所の下山武司先生から、研究データの国際的なトレンドや最新システム「GakuNin RDM」の状況についてお話しいただきました。また、本学工学部の松原仁先生からは、実際の研究室でどのようにデータを管理しているかという、現場ならではの具体的な事例を紹介していただきました。とくに松原先生のお話は、研究データが多様であることと共に、データ管理の実践例としてとても好評でした。

第2部では、国立情報学研究所の松本正雄先生に、「GakuNin RDMのデータ解析機能」について、ハンズオンを実施いただきました。

現在、学内限定でセミナーの資料や動画の一部を公開しています。



研究データ管理以外にも、オープンアクセス化の支援、論文投稿先を選ぶときの留意点など図書館ウェブサイトの「研究支援」タブに情報をまとめて掲載しています。ぜひチェックしてみてください。皆さんの研究活動に、少しでもお役に立てれば幸いです。



海外大学図書館訪問記

情報管理課 情報支援係 新垣愛里 津波古桃

私達は九州大学が国立情報学研究所（NII）から受託する事業の一環で、海外の大学図書館を訪問する機会を得ました。訪問の目的は、研究データ管理に関する海外先進事例調査でしたが、今回の記事では写真とともに海外の大学図書館の様子を報告します。ぜひお気軽にお読みください。

（アメリカ編）

2025年9月の中旬、1週間程度の出張で、タフツ大学、ハーバード大学、イリノイ大学、ミネソタ大学、アメリカの4つの大学の図書館を訪問しました。

訪問は、どの大学でもその大学の図書館職員の方々との会議に参加したり、お食事をしながらお互いの大学に関する情報を交換したりしました。

その日程の中では各大学の図書館見学もしたのですが、どの図書館も共通して「学生が自由に学び、挑戦できる場づくり」をととても大切にしています、その雰囲気がとても印象的でした。



特に心に残ったのは、学生同士で気軽に話し合えるスペースや、動画・音声の収録ができるミニスタジオが図書館内に整っていること。課題やプレゼンの準備に使える場所が、いつでもオープンになっていて、たくさんの学生に図書館が利用されていました。また、図書館スタッフが行う学修サポートやワークショップも盛んで、レポートの書き方や資料探しのコツを気軽に相談できる環境がありました。

今回の訪問を通して、「図書館は本を借りるだけの場所ではなく、みなさんの学びを後押しする場所になれるのだ」ということを改めて強く感じました。

本学の図書館でも、もっと使いやすい学修スペースや、相談できる機会づくりを増やしていきたいと考えています。

みなさんが「ちょっと頑張ってみようかな」と思ったときに、そっと背中を押せる図書館でありたい。そんな気持ちを持って、日々のサービスを少しずつ良くしていけたらと思っています。

「こんな場所がほしい」「こんなサポートがあったら嬉しい」など、アイデアがあれば本学図書館カウンター職員までぜひ教えてください。

(ドイツ、クロアチア編)

2026年2月、ドイツとクロアチアにある大学を訪問しました。今回は、誌面の都合上、フランクフルト大学（ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学・アム・マイン）訪問時の様子を紹介します。

訪問したのは、キャンパス・ウェストエンドにある「言語文化研究図書館（BSKW）」です。言語や美術等の資料を所蔵しており、日本研究も行われていることから、BSKWには日本語の資料も多く所蔵されていました。図書館ツアーを担当してくれた方も日本語を学んでいたとのことで、日本語で案内していただきました。こちらには、日本語で書かれた小説だけでなく、教育学や経済学等の資料もあり驚きました。その他、楽譜資料やメディア資料もあるため、ピアノ演奏やメディア再生ができる個室も用意されていました。



図書館ツアーの後は、キャンパスツアーもしていただきました。キャンパス・ウェストエンドには、IGファルベン本社ビルだった建物があります。現在は大学施設の一つとして利用されており、建物内は厳かな雰囲気にも包まれ……というわけではなく、学生が友人らと楽しそうに過ごしており活気に満ち溢れていました。ちなみに、ここには1人乗り用の循環型エレベーターがあります。動き続けるカ

ゴにタイミング良く乗り、目的階でタイミング良く降りるというものです。現在は現役で稼働しており、説明を聞いている間も利用している学生達を見かけました。

今回の訪問を通して、どの大学もどのような支援が図書館で提供できるか、試行錯誤していることが分かりました。本学も試行錯誤の最中です。これからも業務を通してより良いサービスの提供ができるよう努めていきたいと思えます。

第19回 琉球大学びぶりお文学賞 選考結果

2025年5月から作品を募集しました「第19回 琉球大学びぶりお文学賞」は10月22日に募集が締め切られ、小説部門に14編、詩部門に34編の応募がありました。11月27日・11月28日の両日に行われた選考の結果、下記のとおり受賞作品を決定しました。

【小説部門】

受賞作（正賞）

『秒針』 須藤佐一（琉球大学 理学部物質地球科学科1年）

佳作2編

『Roundabout』 仮猫田 休（琉球大学 法務研究科2年）

『IPA（次元間技術推進機構）によろこそ！』 愛計（琉球大学 工学部工学科4年）

【詩部門】

受賞作（正賞）

『手』 外間 優子（琉球大学 理学部物質地球科学科4年）

佳作5編

『五十年』 戸塚 里奈登（琉球大学 人文社会学部国際法政学科3年）

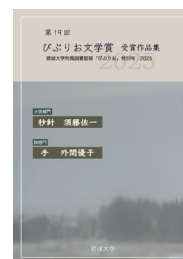
『くたばるために生きている』 石川（沖縄国際大学 総合文化学部日本文化学科4年）

『ジイシキカジョーショー』 唯カブレ（琉球大学 人文社会学部琉球アジア文化学科4年）

『ファとミの間』 上原 愛音（琉球大学 人文社会学部琉球アジア文化学科4年）

『望ましい未来』 邊土名 俊毅（琉球大学 人文社会学部琉球アジア文化学科2年）

受賞作品をまとめた作品集を発行しました。図書館ウェブサイトでも全文を公開していますので、ぜひご覧ください。



○[バックナンバー 一覧（びぶりお文学賞）](#)

第19回 琉球大学びぶりお文学賞表彰式

本館2階ラーニング・コモンズにて2026年2月27日に表彰式を執り行いました。

表彰式では、喜納育江学長ならびに図書館担当理事の木暮一啓理事よりお祝いのお言葉をいただきました。続いて、受賞者より作品への想いや執筆時のエピソードを語っていただき、選考委員からは入賞作品に対する講評が述べられました。



びぶりお文学賞受賞者の言葉

【小説部門】

『秒針』 須藤佐一

この度は第19回びぶりお文学賞小説部門正賞に選出していただきありがとうございます。初挑戦だったので、今回は経験を積み、いつかは正賞を取れたらいいな、と考えていたところまさかの受賞をすることができて、驚きと共に嬉しさが込み上げてきました。

この小説は時間の感じ方というのが一つのテーマになっており、流れる時間は変わらないはずなのに早く感じたり遅く感じたりするという部分に着目しました。これは自分がバイト中に考えていたことで、短編小説にちょうどいいのではないかと思い至り執筆を始めました。

執筆するに当たって意識した点は構成の部分で、常に読者の目線に立ち、独りよがりにならないようプロットの段階から作り上げるよう努めました。

最後に、びぶりお文学賞を受賞できたことを自信にして、この先もっと面白い小説を書いていけるよう精進していきたいです。

【詩部門】

『手』 外間 優子

この度は第19回琉球大学びぶりお文学賞詩部門正賞に選出いただき誠にありがとうございます。とても嬉しく思います。

「手」は自分の記憶を書いた作品です。「死」というテーマを考えたときにあらゆる手が思い起こされ、それを書いてみました。

最初は、詩を書こうと思ってても何を書いたら良いのやら、まさに暗中模索していましたところ人間共通のお題はどうか、という創作講座（附属図書館主催）での先生方のお言葉を思い出して筆を執ることができました。

この作品は制作過程がとても不思議なものでした。「死」という切符をもって自分の過去を電車に乗って旅してはいろんなものを見つけるという作業がありました。その度に悶えたり苦しんだり、時に一人でにやけたり、自分自身の記憶の表層になかった様々なものに出会うことができました。

応募チラシを見ても自分には文才はないから縁遠いものだと思っていました。しかし、やってみることで受賞はもちろん自己記憶旅という貴重な体験をすることができました。応募を迷われている方はやってみると面白いかもしれません。

関わってくださる全ての方にお礼申し上げます。書く機会を与えてくださりありがとうございました。

第20回の募集について

「第20回琉球大学びぶりお文学賞」の作品は2026年9月30日まで募集しています（最終日の提出締切は17時まで）。

学生の皆さまの挑戦をお待ちしています。

応募要領など詳しくは図書館ウェブサイトをご確認ください。

【作品募集】第20回琉球大学びぶりお文学賞



館内企画展を開催

当館では、多様なテーマの企画展を開催し、学生が当該テーマについて考える機会を提供しています。

2025年度は、学内外の期間と連携し、以下の企画展を開催しました。各企画展では、連携先からご提供いただいたパネル等を活用し、テーマに関連する学内外の取組みや図書館所蔵資料を紹介しました。また、開催に際して当館ウェブサイト内に企画展専用ページを開設し、直接来場できない利用者に向け、動画コンテンツや展示資料情報を配信しました。

| No. | 形態 | 企画展名 | 期間 | 実施場所 |
|-----|----|---|------------------------------|---|
| 1 | 共催 | \文系も理系も附属図書館へ！/ データサイエンス×〇〇 #何を学 べるか教えて (数理・データサイエンス・AI教 育推進室およびジェンダー協働推 進室との共催) | 2025年3月27日(木) ～5月8日(木) | 本館3階 ホール |
| 2 | 主催 | 新入生歓迎企画展 | 2025年4月3日(木)～ 5月29日(木) | 本館2階 ラーニング・ commons |
| 3 | 共催 | JICA海外協力隊活動パネル展 (JICA沖縄との共催) | 2025年4月4日(金)～ 4月22日(火) | 本館1階 多目的ホー ル |
| 4 | 主催 | 企画展「戦後80年 沖縄戦×琉球 大学」 | 2025年6月2日(月)～ 6月30日(月) | 本館2階 ラーニン グ・commons |
| 5 | 共催 | JICA 第4回SDGsフォトコンテス ト作品展示会 (JICA沖縄との共催) | 2025年7月1日(火)～ 7月10日(木) | 本館2階 ラーニング・ commons |
| 6 | 主催 | EU資料展「言葉の冒険へ、一步踏 み出してみませんか？」 | 2025年6月30日(月) ～7月23日(水) | 本館2階 国際資料室 |
| 7 | 主催 | びぶりお文学賞関連イベント「書 き出すための第一歩のお手伝 い！」展 | 2025年7月1日(火)～ 9月29日(月) | 本館3階 ホール (7/1 ～8/11) 本館2階 ラーニン グ・commons (8/12～ 9/29) |
| 8 | 主催 | 企画展「琉球大学を知る・図書館 を知る」 | 2025年7月15日(火) ～8月12日(火) | 本館2階 ラーニング・ commons |
| 9 | 共催 | JICA海外協力隊活動秋募集パネル 展 (JICA沖縄との共催) | 2025年9月22日(月) ～10月14日(火) | 本館1階 多目的ホール |
| 10 | 主催 | Open Access Week 2025関連企画 展 “Who Owns Our Knowledge ?” | 2025年10月14日(火) ～11月13日(木) | 本館2階 ラーニング・ commons |

図書館所蔵資料が利用された出版等

| 書名・展示会等 | 提供した資料 | 日付 |
|---|---|----------------------|
| X、facebook 国立公文書館アジア歴史資料センター | 矢内原忠雄文庫 『辯論部史 編纂手控』 | 投稿日：2025年2月1日 |
| 名城大学「琉球文学大系」シリーズ第19巻『混効験集・南島八重垣』 | 伊波普猷文庫（IH084）『混効験集』 | 刊行日：2025年3月28日 |
| 『日本と朝鮮（愛知版）』 2025年2月（490）号 | 『尚嶋記事 善隣記事』 | 刊行年：2025年 |
| 東京沖縄県人会会報「おきなわの声」No.507 | 『琉球人行列図錦絵』 | 刊行日：2025年3月1日 |
| 沖縄タイムス 「時局に揺れる花～戦前・戦中の芸能～」9 | 『琉球舞踊写真解説』 | 発行日：2025年3月21日 |
| Yahooニュース地域版 首里城復元へ繋がる「江戸上り」プレ公演：川崎と琉球の400年を体感【川崎市】 | 『琉球人行列図錦絵』 | 公開日：2025年8月5日 |
| 琉大にぬふぁ星講座 | 『琉球人行列図錦絵』 | 公開日：2025年8月8日 |
| 羽鳥慎一モーニングショー 「自分のことと感じる」 沖縄戦、AI使い白黒写真をカラー化 戦争が奪った「色」 | 『坂元商店 絵葉書アルバムⅠ 16絵葉書／琉球風景 泊高橋ト電車鉄橋』 | 放映日：2025年8月14日 |
| 『歴史アドベンチャー 語られなかった沖縄の真実』 | 『坂元商店 絵葉書アルバムⅠ 16絵葉書／琉球風景 泊高橋ト電車鉄橋』 『明治期琉球写真帳2 13[釈奠(せきてん) 2]』 『琉球人行列図錦絵』 | 刊行日：2025年9月25日 |
| 謝花昇生誕160周年記念特別展 | 『明治期琉球写真帳』 『坂元商店 絵葉書アルバム』 | 会期：2025年9月17日～10月26日 |
| ガレッジセールの英雄会議賀数仁然先生の琉球偉人伝（後編） | 島袋源七文庫（SI009）『断片綴（針竿関係）』 | 放映日：2025年10月12日 |
| 「琉球ウトウイムチツアー」ウェブ広報 | 伊波普猷文庫（IH018）『中山伝信録[一]～六』 | ウェブサイト確認日：2025年11月 |
| 名城大学「琉球文学大系」シリーズ第22巻 琉球説話3『和文説話』 | 伊波普猷文庫（IH009）『佐銘川大ぬし由来記』 仲原善忠文庫（NA006）『久米具志川間切旧記写』 | 刊行日：2025年12月25日 |
| 『みんなで学ぶ！首里城復興「おてかけ講座」2025』 | 『明治期琉球写真帳2中山門』 / 『Bullガラス乾板写真 琉球国王の城』 / 『琉球大学50年史写真集 1953年（昭28）頃の琉球大学全景』 | 刊行年：2025年 |
| 琉球新報 戦後80年に問う 沖縄の文化芸術政策6 八重山の視点 各地域に独自の史観 連携で多様な文化継承を | 宮良殿内文庫（MI136）『馬絵』 | 発行日：2026年2月6日 |

【本館】開館時間変更の試行について（2026年8月1日～）

2026年8月1日（土）より、図書館（本館）の開館時間の変更を試行します。
※変更点は赤字部分です

特に試験直前・試験期間内の土日祝日は開館時間を**1時間延長**いたしますので、この機会にぜひご活用ください。

| 区分 | 開館時間（7月まで） | 開館時間（8月以降） |
|-----------|------------------------|--|
| 通常期※1平日 | 8:00-21:40 | 8:15 -21:40 |
| 通常期※1土日祝日 | 10:00-20:00 | 10:00- 18:00 【試験直前と試験期間内※3】 10:00- 21:00 |
| 休業期※2平日 | 10:00-20:00 | 10:00- 17:00 |
| 休業期※2土日祝日 | 10:00-20:00 (3月は休館) | 休館 |

※1 授業が開講している期間を指す。

※2 授業が休講している期間を指す。

※3 2026年度は以下のとおり。

2026年8月1日(土)～2日(日)、2027年1月30日(土)～31日(日)

- ・開館カレンダーは図書館Webサイトをご参照ください。
- ・2026年8月1日から試行的に実施します。学修への影響等を確認したうえで、必要に応じて関連規則の改正等を行います。
- ・今回の開館時間の変更は本館（千原キャンパス）のみの試行となり、医学部分館（西普天間キャンパス）は対象外です。

琉球大学附属図書館への支援をお考えの方へ

琉球大学附属図書館では皆様の温かいご支援を募集しております。
皆様からのご支援は、図書館における学修支援や地域貢献等の各種事業に活用させていただきます。

当館へのご支援については下記の方法がございます。

皆様のご理解とご支援を賜りますよう、どうぞお願い申し上げます。

① 寄附金でのご支援

図書館における学修支援、地域貢献、環境整備等の各種事業推進のため、「琉球大学附属図書館寄附金」へのご協力をお願い致しております。

本寄附金は、個人・法人を問わず、ご寄附いただくことが可能です。

詳細▶[琉球大学附属図書館へのご寄附のお願い](#)

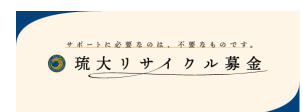


② あなたの不要物でのご支援—琉大リサイクル募金—

読み終えた本や不要になったDVD、ゲームソフトなどの買い取り額が「琉球大学基金」に寄附される「琉大リサイクル募金」へのご協力をお願い致しております。

寄附は図書館支援プロジェクトとして学生用図書の購入や設備の更新など、学修環境の向上のために活用します。

詳細▶[琉大リサイクル募金サイト](#)



図書館日誌（2025年4月1日～9月30日）

| 年月日 | 事項 |
|---------|--|
| 4月1日 | 企画展「\文系も理系も附属図書館へ！／ データサイエンス×〇〇 #何を学べるか教えて」（3月27日から5月8日まで） |
| 4月2日 | JICA海外協力隊活動パネル展（4月20日まで） |
| 4月3日 | 2025年度新入生歓迎企画展（5月16日まで） |
| 4月7日・8日 | セミナー「先輩に聴く！履修登録の方法」（ハイブリッド開催、講師：大学院生TA） |
| 5月12日 | 第1回附属図書館自己点検・評価委員会（オンライン会議） |
| 5月16日 | 第19回琉球大学びぶりお文学賞募集開始 |
| 5月22日 | 令和7年度第1回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会（書面会議） |
| 5月29日 | セミナー「先輩に聴く！テスト対策の方法」（ハイブリッド開催、講師：大学院生TA） |
| 6月2日 | 企画展「戦後80年 沖縄戦×琉球大学」（6月30日まで） |
| 6月2日 | 第1回附属図書館医学部分館運営委員会（書面会議） |
| 6月11日 | 第1回附属図書館沖縄関係資料専門委員会 |
| 6月20日 | セミナー「先輩に聴く！大学院進学について」（ハイブリッド開催、講師：大学院生TA） |
| 6月30日 | EU資料展「～言葉の冒険へ、一歩踏み出してみませんか？～」（7月23日まで） |
| 6月30日 | 第1回附属図書館運営委員会（オンライン会議） |
| 7月1日 | JICA 第4回SDGsフォトコンテスト作品展示会（7月10日まで） |
| 7月1日 | びぶりお文学賞関連イベント「書き出すための第一歩のお手伝い！」展（9月29日まで） |
| 7月4日 | 移動展「戦後80年 沖縄戦×琉球大学」（場所：琉球大学附属中学校、7月17日まで） |
| 7月4日 | 「2027年以降に向けた学術情報基盤（電子ジャーナル・データベース等）に関するアンケート」実施（8月15日まで） |
| 7月7日 | 第2回附属図書館医学部分館運営委員会（書面会議） |
| 7月15日 | 企画展「琉球大学を知る・図書館を知る」（8月12日まで） |
| 7月24日 | セミナー「先輩に聴く！交換留学について」（ハイブリッド開催、講師：大学院生TA） |
| 7月25日 | 移動展「戦後80年 沖縄戦×琉球大学」（場所：南城市役所、8月7日まで） |
| 8月6日 | 「スタートアップ美術」成果発表作品展 The 4 beasts Exhibition 2025（8月12日まで） |
| 8月8日 | 第19回琉球大学びぶりお文学賞関連企画 小説・詩の創作講座（小説部門） |
| 8月9日 | 移動展「戦後80年 沖縄戦×琉球大学」（場所：中城村護佐丸歴史資料図書館、8月20日まで） |
| 8月10日 | 第19回琉球大学びぶりお文学賞関連企画 小説・詩の創作講座（詩部門） |
| 9月22日 | JICA海外協力隊活動パネル展（10月14日まで） |
| 9月26日 | 「宮良殿内文庫」が国の重要文化財に指定される |

図書館日誌（2025年10月1日～2026年3月31日）

| 年月日 | 事項 |
|--------|--|
| 10月1日 | 令和7年度琉球大学附属図書館企画展「琉大資料でつなぐとよみ・とみぐすくの今昔」（場所：豊見城市歴史民俗資料展示室、10月26日まで） |
| 10月1日 | 第1回次期図書館システム検討ワーキンググループ |
| 10月6日 | 令和7年度第5回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会（オンライン会議） |
| 10月15日 | Open Access Week 2025関連企画展「Who Owns Our Knowledge?」（11月13日まで） |
| 10月16日 | 第2回附属図書館自己点検・評価委員会（書面会議） |
| 10月21日 | 学術データベースWeb of Science講習会（オンライン開催、講師：データベース提供元担当者） |
| 10月22日 | 第19回琉球大学びぶりお文学賞募集締切 |
| 11月7日 | 移動展「戦後80年 沖縄戦×琉球大学」（場所：恩納村博物館、11月19日まで） |
| 11月10日 | 第2回附属図書館運営委員会（書面会議） |
| 11月20日 | セミナー「先輩に聴く！研究室の選び方と一年間の研究について」（ハイブリッド開催、講師：大学院生TA） |
| 11月25日 | エコクリーンデー |
| 11月27日 | 第19回琉球大学びぶりお文学賞選考委員会（詩部門） |
| 11月28日 | 第19回琉球大学びぶりお文学賞選考委員会（小説部門） |
| 11月28日 | 令和7年度第6回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会（書面会議） |
| 12月2日 | 令和7年度第1回琉球大学出版会運営委員会（オンライン会議） |
| 12月4日 | 第19回琉球大学びぶりお文学賞選考結果公表 |
| 12月10日 | 附属図書館防災訓練 |
| 12月11日 | 令和7年度第1回琉球大学学術リポジトリ運営委員会（オンライン会議） |
| 12月16日 | 「2027年以降に向けた学術情報基盤（電子ジャーナル・データベース等）に関するアンケート」実施結果 |
| 12月18日 | セミナー「先輩に聴く！博物館関連科目と学芸員資格取得について」（ハイブリッド開催、講師：大学院生TA） |
| 12月22日 | セミナー「先輩に聴く！インタビュー（聞き取り）調査のコツ」（ハイブリッド開催、講師：大学院生TA） |
| 1月7日 | 第2回次期図書館システム検討ワーキンググループ |
| 1月16日 | 第3回附属図書館自己点検・評価委員会（書面会議） |
| 1月21日 | 第2回附属図書館沖縄関係資料専門委員会 |
| 1月23日 | セミナー「先輩に聴く！理系大学院での生活について」（ハイブリッド開催、講師：大学院生TA） |
| 1月23日 | デジタル教科書体験説明会 |
| 1月26日 | セミナー「先輩に聴く！理系学生の留学について」（ハイブリッド開催、講師：大学院生TA） |
| 2月3日 | 令和7年度第7回附属図書館学術情報基盤資料選定委員会（オンライン会議） |
| 2月4日 | 第3回次期図書館システム検討ワーキンググループ（書面会議） |
| 2月9日 | 第3回附属図書館運営委員会（オンライン会議） |
| 2月11日 | 研究データ管理に関する海外大学事例調査（期間：2月22日まで／訪問先：ドイツ、クロアチア） |
| 2月16日 | 第19回琉球大学びぶりお文学賞授賞作品集刊行 |
| 2月19日 | 研究データ管理セミナー |
| 2月25日 | 令和7年度第2回琉球大学学術リポジトリ運営委員会（書面会議） |
| 2月27日 | 第19回琉球大学びぶりお文学賞表彰式 |
| 3月31日 | 琉球大学出版会 第1号出版 |

図書館データ集 (2025年度)

※特に記載のない限り、2026年3月末現在のデータです。

■施設について

| | 総面積 (㎡) | 収容可能冊数 (万冊) | 座席数 (席) |
|-------|---------|-------------|---------|
| 本館 | 9,950 | 103 | 867 |
| 医学部分館 | 1,540 | 13 | 189 |

■図書所蔵数 (冊)

| | | |
|-------|---|---------|
| 本館 | 和 | 617,353 |
| | 洋 | 250,791 |
| | 計 | 868,144 |
| 医学部分館 | 和 | 55,574 |
| | 洋 | 41,341 |
| | 計 | 96,915 |
| 全体 | 和 | 672,927 |
| | 洋 | 292,132 |
| | 計 | 965,059 |

■雑誌所蔵タイトル数 (種)

| | | |
|-------|----|--------|
| 本館 | 国内 | 12,310 |
| | 国外 | 5,797 |
| | 計 | 18,107 |
| 医学部分館 | 国内 | 2,160 |
| | 国外 | 1,743 |
| | 計 | 3,903 |
| 全体 | 国内 | 14,470 |
| | 国外 | 7,540 |
| | 計 | 22,010 |

■年間図書受入冊数 (冊)

| | | |
|-------|---|-------|
| 本館 | 和 | 4,800 |
| | 洋 | 251 |
| | 計 | 5,051 |
| 医学部分館 | 和 | 601 |
| | 洋 | 19 |
| | 計 | 620 |
| 全体 | 和 | 5,401 |
| | 洋 | 270 |
| | 計 | 5,671 |

■年間雑誌受入タイトル数 (種)

| | | |
|-------|----|-------|
| 本館 | 国内 | 828 |
| | 国外 | 117 |
| | 計 | 945 |
| 医学部分館 | 国内 | 159 |
| | 国外 | 6 |
| | 計 | 165 |
| 全体 | 国内 | 987 |
| | 国外 | 123 |
| | 計 | 1,110 |

■年間電子資料購読数

| | | |
|-------------|----|--------|
| 電子ブック (点) | 和 | 5,071 |
| | 洋 | 3,755 |
| | 計 | 8,826 |
| 電子ジャーナル (種) | 国内 | 5 |
| | 国外 | 27,541 |
| | 計 | 27,546 |

■年間資料購入費 (千円)

| | |
|----------------|---------|
| 図書 | 29,716 |
| 雑誌 | 23,741 |
| 電子ジャーナル・データベース | 154,562 |
| 計 | 208,019 |

■ 年間開館日数（日）

| | |
|-------|-----|
| 本館 | 331 |
| 医学部分館 | 332 |

■ 奉仕対象者数（人）

| | |
|-------|-------|
| 本館 | 8,322 |
| 医学部分館 | 3,383 |

2025年5月1日現在

■ 年間入館者数（延べ人数）

| | |
|-------|---------|
| 本館 | 207,635 |
| 医学部分館 | 101,526 |

■ 年間貸出冊数（点）

| | |
|-------|--------|
| 本館 | 56,790 |
| 医学部分館 | 6,501 |

■ ILL（図書館間相互貸借）年間利用数

| | | | |
|-------|-------|----|-----|
| 本館 | 貸借（冊） | 借受 | 108 |
| | | 貸出 | 160 |
| | 複写（件） | 依頼 | 571 |
| | | 受付 | 173 |
| 医学部分館 | 貸借（冊） | 借受 | 1 |
| | | 貸出 | 0 |
| | 複写（件） | 依頼 | 173 |
| | | 受付 | 516 |

■ 図書館職員・TAによる講義等開催状況

| | |
|---------|-------|
| 開催回数（回） | 86 |
| 受講者数（人） | 2,948 |

■ 年間レファレンス件数（件）

| | |
|-------|-------|
| 本館 | 1,163 |
| 医学部分館 | 210 |

■ ラーニング・サポートデスク相談受付件数（件）

| | |
|--------|-----|
| 相談受付件数 | 148 |
|--------|-----|

■ アクティブ・ラーニングエリア予約利用件数（件）

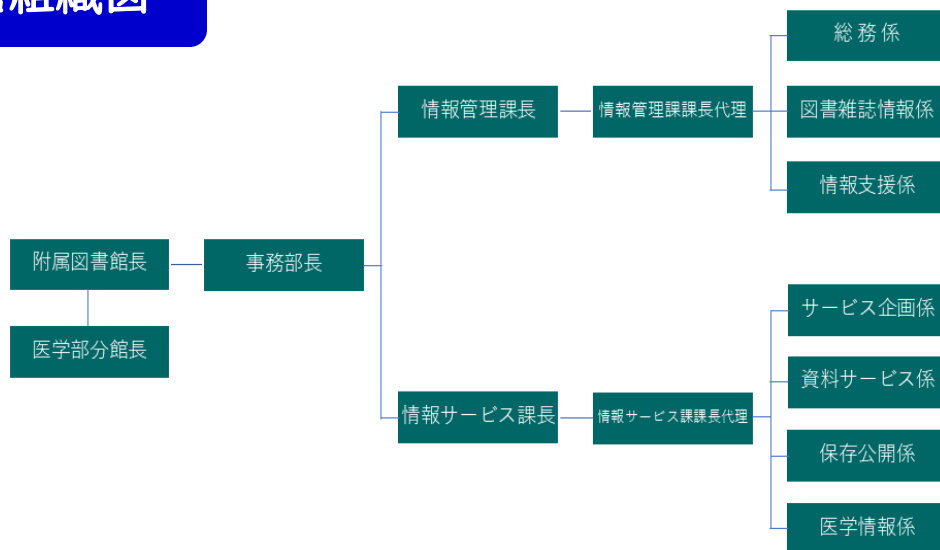
| | |
|--------|-----|
| 予約利用件数 | 175 |
|--------|-----|

*授業・学内行事等で利用された件数。

■ 琉球大学学術リポジトリ総登録件数（件）

| | |
|------|--------|
| 登録件数 | 17,513 |
|------|--------|

図書館組織図



【奥付】 琉球大学附属図書館報「びぶりお」第59巻（通巻第176号） 〒903-0214 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
 発行日：2026年6月 TEL：098-895-8161
 編集・発行：琉球大学附属図書館 E-mail：tskikaku@acs.u-ryukyuu.ac.jp

*前年度の図書館の活動報告を中心とした内容で、年1回、電子版のみを発行しています。